

合志市 令和8年第2回定例記者会見 次第

日時：令和8年5月22日（金曜日）13時30分～

場所：合志市役所 避難所①

1. 開会

- ・ 5期目就任のあいさつ
合志市長 荒木 義行

2. 主要政策・新たな取り組みについて

- ・ 合志市制20周年記念式典について
- ・ 徳島県阿南市との姉妹都市提携について
- ・ 広域交通拠点周辺整備計画の策定について
- ・ 合志市を未来へつなぐ「癒しの里構想」について

3. 補正予算事業説明

令和8年第2回合志市議会定例会提出一般会計補正予算説明

4. その他トピックス

- (1) 東部工業団地立地企業内定について
- (2) ふたりの健康と未来応援助成について
- (3) 雨庭について
- (4) 第18回人権研究教育大会について
- (5) 漫才のDENDOについて
- (6) 市制施行20周年の検証報告

(7) 合志市紹介動画について

5. 質疑応答

6. 閉会

5期目の就任にあたって

～5つの重点的実行施策～

5つの公約

1. 渋滞対策を国・県と連携

- ・中九州横断道路の早期完成
- ・県道大津西合志線の多車線化

2. サイエンスパーク誘致と農地の保全

- ・サイエンスパーク立地協定(県・市・三井不動産)R8.4.27締結
- ・農業振興と産業集積のバランス
- ・地下水涵養の徹底

3. 計画的な都市整備、持続可能なまちづくり

- ・新たな都市計画マスタープラン
- ・交通拠点周辺の整備

4. 高齢者も住みやすく、子どもや若者も楽しめるまちづくり

- ・見守りと防犯対策
- ・動物を活用したセラピー

5. 財政基盤の一層の強化

- ・税収の確保、基金等
- ・「稼げる市」を念頭に



お問い合わせ先

市長公室 秘書政策課

☎ 096-248-1028(直通)

✉ seisaku@city.koshi.lg.jp



合志市制施行20周年記念式典

人と地域が輝く未来へ ～健幸都市こうし～



平成18年2月27日に県内14番目の市として誕生した合志市。これまでの歩みに感謝するとともに、多くの関係者・市民が一体となり、未来への新たな一歩を踏みだします。



日時 令和8年5月30日(土)

午前9時	開場・受付
午前9時30分	オープニングアトラクション 合志吹奏楽団「響」による演奏
午前10時	開式 表彰、映像の上映
正午(予定)	閉式



場所 合志市総合センター「ヴィーブル」文化会館

お問い合わせ先 総務部 総務課
 ☎ 096-248-1112(直通)
 ✉ soumu@city.koshi.lg.jp

徳島県阿南市と合志市が姉妹都市提携を締結

～両市の更なる飛躍を見据えて～



徳島県阿南市



熊本県合志市



提携の経緯

令和元年6月 徳島県阿南市と合志市の交流が始まる

令和元年10月 パートナーシティ協定の締結

令和8年1月 徳島県阿南市と姉妹都市提携することを合意

提携の目的・効果

人権

(目的)

ハンセン病の歴史・
人権啓発に関する連携

(効果)

人権教育・啓発の向上
自治体の社会的評価向上
地域資源の再評価

防災

(目的)

震災経験・防災知見
の共有

(効果)

防災力向上
災害時対応能力の向上
災害対策事業の効率化

その他

(目的)

その他物産・観光・
産業交流等

(効果)

物産交流
職員間交流
市の共同PR

問い合わせ先

合志市 市長公室 企画課 企画広報班

☎ 096-248-1813 (直通)

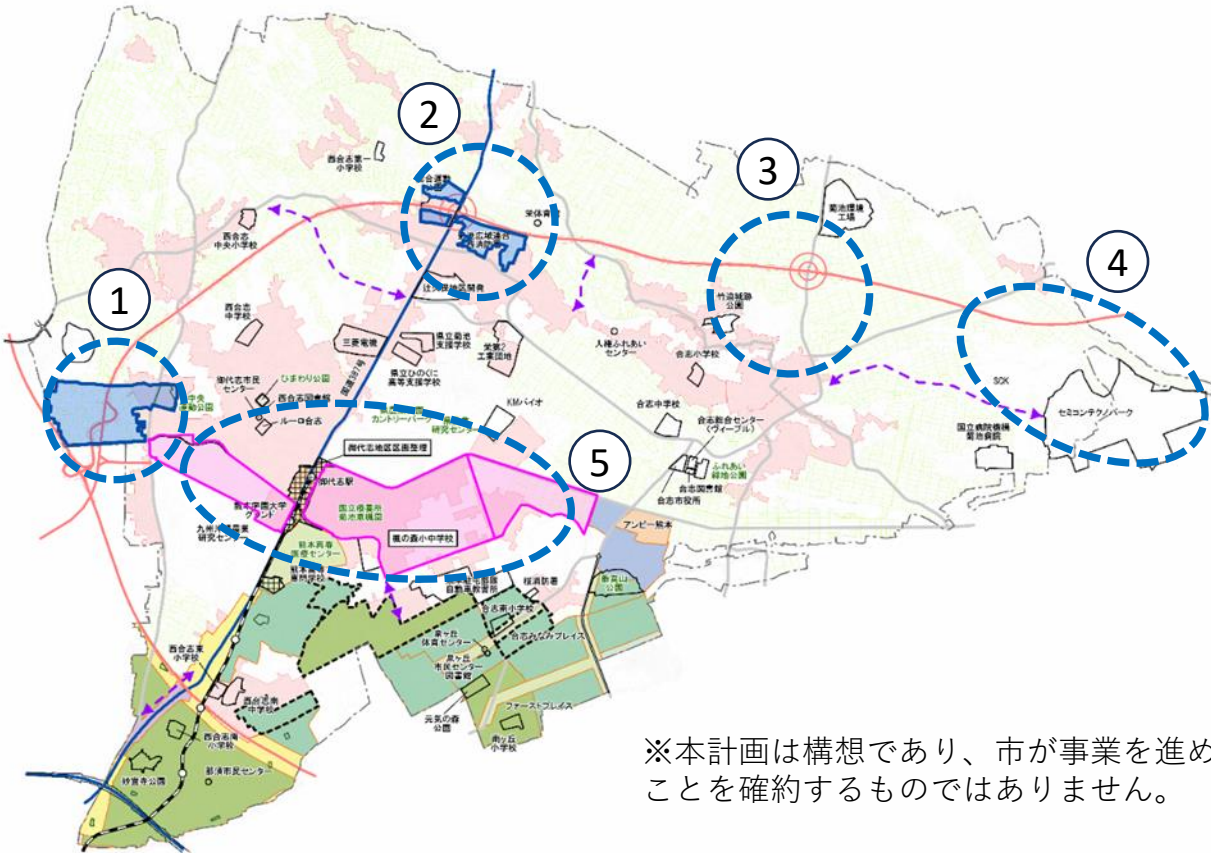
✉ kikaku@city.koshi.lg.jp

▶ 両市の更なる発展 と 地域の活性化



広域交通拠点周辺整備計画の策定

～合志市の転換期における変化を見据えた土地利用構想～



※本計画は構想であり、市が事業を進めることを確約するものではありません。

- ①北熊本JCT/IC周辺 = 広域交流・産業業務拠点
- ②西合志IC周辺 = 産業業務・自然共生拠点
- ③合志IC周辺 = 農業活性化拠点
- ④セミコン周辺 = 先端産業拠点
- ⑤御代志駅周辺・交通ネットワーク沿い = 新市街地拠点

概要

中九州横断道路の整備や半導体企業の進出等を契機とした開発の活性化やそれに伴う基盤整備など、本市を取り巻く環境の変化を見据え、柔軟に対応するための拠点となる地区の基本構想

【中九州横断道路】

★命と経済の道の整備による人・モノの流れの活発化

【くまもとサイエンスパーク】

★県の構想に基づく半導体関連産業の立地誘導

【市の課題への対応】

★企業集積による雇用増大→若者の市外流出の軽減→職住近接による渋滞緩和

【市の魅力増大】

★県内でも数少ない人口増加が続く合志市で「住み続ける」「働き続ける」「楽しみ続ける」仕組みづくり 6

お問い合わせ先

都市建設部 都市整備室

☎ 096-248-1166(直通)

✉ toshiseibi@city.koshi.lg.jp

“動物との共生”“癒し”の里こうし

～合志市発の地方創生モデル～

動物福祉・関係人口創出

～福祉基盤形成・移住定住促進～

民間投資促進による
拠点施設の誘致

こどもの心の育ち

～思いやりと生きる力を育む～

いのちの伝承・学び

合志市 × 動物

高齢者の健幸

～心と体の健康寿命を延伸～

アニマルセラピー

包摂と復帰支援

～障がい者雇用促進・心の病からの復帰～

ペットフード工場等
の雇用創出

安全安心

～災害時もペットと安心して暮らす～

防災広場(ペット同伴避難所)



Ⅲ-1 “動物との共生” “癒し” の里こうし基本構想策定

【高齢者、子ども、若者も楽しめるまちづくり】

新

予算額32,978千円
秘書政策課

- 「癒し」をテーマとして「動物」「ペット」「福祉」等を切り口として、令和10年度の供用開始を目指している中九州横断道路の整備を念頭に、西合志IC周辺地域でのまちづくりプロジェクトの展開を検討
- 荒木市長5期目のマニフェストの一つ「高齢者も住みやすく、子どもや若者も楽しめるまちづくり」の具現化をめざしたもの

現状・課題

【現状】

・令和10年度の供用開始を目指し、中九州横断道路の整備が進められている

・西合志IC周辺地域における“動物との共生”“癒し”を軸としたまちづくりを検討

・以下の5つのテーマ等に沿うまちづくりを推進することを想定

- ◆ 動物福祉・関係人口創出
- ◆ 高齢者の健幸
- ◆ 包摂と社会復帰
- ◆ こどもの心の育ち
- ◆ 安全安心

【課題】

・まちづくりの推進のための、基本構想の策定が必要

事業概要

○全体事業費： 32,978千円

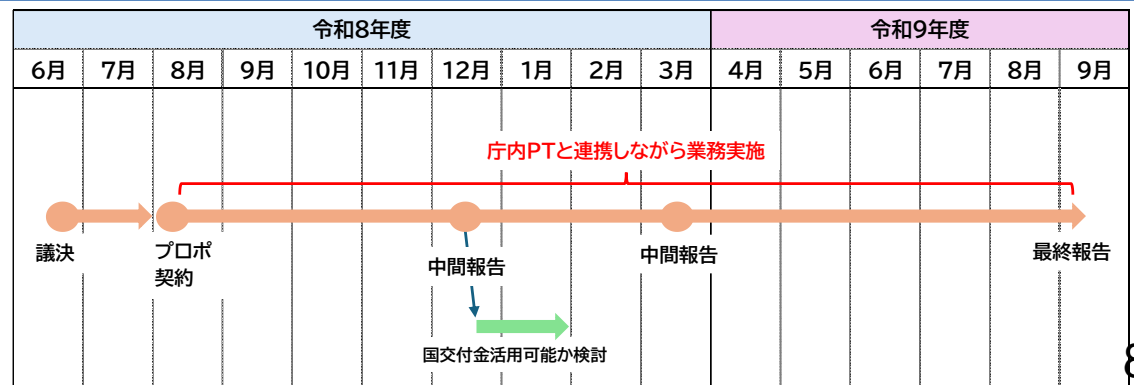
○事業内容： “動物との共生”“癒し”の里こうしに係る基本構想策定委託

【想定する委託内容】※主なもの

- ・構想図の作成
- ・現状整理(土地活用状況、法規制等の整理、住民アンケート、経済効果等)
- ・事例研究 ・関係団体(国・県、民間事業者等)との協議
- ・当該地域における導入機能の検討 ・コンソーシアムの組成及び運営
- ・将来構想案の策定 ・交付金等作成の補助
- ・広報のためのPR動画作成

○事業期間： 令和8年度～令和9年度(債務負担行為設定予定)

スケジュール案



※委託業者からの報告は、他時期にも実施予定

令和8年度6月補正予算の概要

令和8年5月22日(金)
総務部財政課

令和8年度6月補正予算の概要

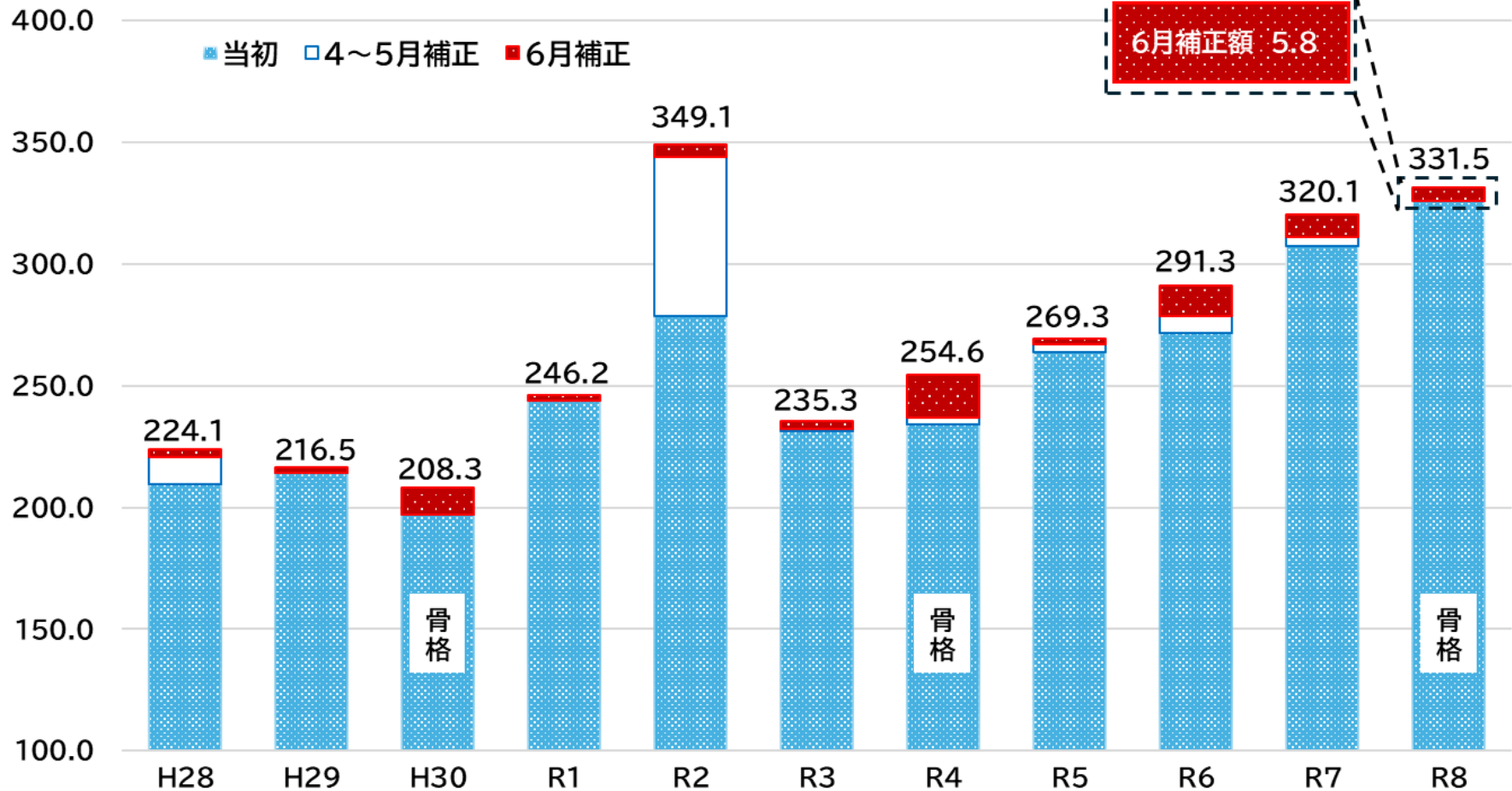
【補正規模】	(単位:百万円)
・現計予算額	32,573(①)
・今回補正予算額	574(②)
6月補正後予算額(①+②)	33,147

(財源内訳) 国県支出金:67百万円、起債:221百万円
 その他:5百万円、一般財源:281百万円

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがある

【億円】

6月補正後予算額の推移



新型コロナウイルス感染症

令和8年度6月補正予算に係る主な事業

- 市長改選後に取り組むべき政策的事業や、当初予算編成後の状況変化によって対応が必要となった事業について、補正予算を計上

(主な内容)★:個別資料あり、☆:債務負担設定あり

※()内は一般財源

I 渋滞対策の推進

- 1 セミコンテクノパーク周辺の環境整備
17百万円(17百万円)
セミコンテクノパーク通勤バスバイ設置工事等に
要する経費

II 計画的な都市整備

- 1 御代志地区土地区画整理事業 ★
16百万円(16百万円)
- 2 市道舗装事業・市道改良事業
1億35百万円(78百万円)
群・永江線等の市道の新設改良に要する経費

III 高齢者、子ども、若者も楽しめるまちづくり

- 1 “動物との共生”“癒し”の里こうし基本構想策定 ★☆
債務負担行為設定 33百万円(33百万円)

- 2 市内小中学校における環境整備
60百万円(60百万円)
市内に所在する小中学校の校舎等の修繕等

- 3 防災アプリ導入による市民の安全確保 ★
1億48百万円(6百万円)

IV 財政基盤の一層の強化

- 1 EBPMに基づく政策立案に向けた研修 ★
2百万円(2百万円)

V その他

- 1 放課後児童クラブ学校施設改修による受入の拡大 ★
32百万円(7百万円)

【参考】令和8年度主要事業について

【基本理念】

「人と地域が輝く未来へ～健幸都市こうし～」の実現に向け、以下の6つの政策(基本方針)の取組みを進める

1 自治の健幸

- 市制施行20周年記念式典 2百万円
合志市の発展を祈念する市制20周年記念式典の開催
- 防災アプリ導入による市民の安全確保 6月補正 1億48百万円
迅速かつ的確な防災情報を伝達するための防災アプリ導入

2 福祉の健幸

- 拠点型介護予防教室の取組み 12百万円
介護予防に取組教室の運営補助等に要する経費
- こども家庭センターの支援体制強化 1百万円
相談支援の質の向上に資するための資格取得に要する経費

3 教育の健幸

- 御代志市民センターの長寿命化改修 2億51百万円
当センターのバリアフリー化等を含めた改修に要する経費
- 恵楓園公園グラウンド整備 一部6月補正 11億19百万円
市民のスポーツ機会確保に資するグラウンド整備に要する経費

4 生活環境の健幸

- 合生住宅の建替え 一部6月補正 4億20百万円
長寿命化計画等に基づく合生住宅の建替えに要する経費
- 妙泉寺公園の長寿命化改修 1億3百万円
公園長寿命化計画に基づく当公園の改修に要する経費

5 都市基盤の健幸

- 御代志地区土地区画整理事業 一部6月補正 3億27百万円
生活サービス機能向上を目指す御代志駅周辺の土地区画整理
- 合志市地域公共交通計画実施事業 1億10百万円
市公共交通計画に基づくコミュニティ交通の運行に要する経費

6 産業の健幸

- 「ユーパレス弁天」大規模改修工事 一部6月補正 11億65百万円
施設長寿命化のための大規模改修工事等に要する経費
- 誘致企業への立地促進助成 2億42百万円
市産業振興を図るための誘致企業への立地促進助成

【政策横断的重要課題】

- “動物との共生”“癒し”の里こうし基本構想策定 6月補正(債務負担行為) 33百万円
- EBPMに基づく政策立案に向けた研修 6月補正 2百万円
- 学校給食運営事業 3億6百万円



IV-1 EBPMに基づく政策立案に向けた研修

【財政基盤の一層の強化】

新

予算額1,900千円
企画課

- 加速度的に進む少子高齢化対策、半導体企業をはじめとした企業立地、デジタル化の加速等、市では急激な環境変化を迎えており、直面する課題等への整理が重要
- こうした課題への対応には、EBPMに基づく政策立案能力など市職員のスキルの養成を図り、効果的な事業を編成・推進していくことが肝要

現状・課題

【現状】

- ・今年、市制施行20周年を迎える。市を取り巻く社会情勢は目まぐるしく変化
- ・少子高齢化、TSMC進出に伴う企業立地、デジタル化の加速等への対応が必要
- ・また、社会保障関連経費をはじめ、一般経費も社会情勢の変化から上昇

【課題】

- ・上記の課題等への対応には、事業目的や効果を明確化させた政策立案能力が必要
- ・そのために、EBPMに基づく政策立案能力など市職員のスキル養成が不可欠

事業概要

○全体事業費： 1,900千円

○事業内容： ①職員向け研修【スクール形式】
 （経済波及効果の計算手法や結果の解釈をレクチャー）
 ②実践研修【伴走支援】
 （実案件を題材にしたOJT形式での分析支援）

○事業期間： R8年度

経済波及効果の流れと想定効果

経済波及効果は主に2つの効果に分けられ、最終需要に対して原材料等が必要になることで誘発される生産が1次波及効果です。さらに、その製造等に関わる雇用者が受け取る賃金等で発生する消費が2次波及効果です。



スケジュール案

●:研修、☆:伴走支援

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
●	●	☆	→			

※30-50名程度の参加想定



V-1 放課後児童クラブ学校施設改修による受入の拡大

【その他】

新

予算額31,225千円
こども未来課

- 合志南小学校敷地内の放課後児童クラブ専用施設2室、学校施設内の専用室2室の合計4室で、放課後や長期休暇期間中の児童の預かりを実施
- 令和8年度については、受入可能人数を上回る申し込みがあったため、学校施設を改修し放課後児童クラブとして利用することで、財政負担を軽減しつつ待機児童の発生を防ぐ

現状・課題

【現状】

・令和8年度の入所申込者数は、221人。
既存のクラブ室4室での受入可能人数は198人であるため、23人の児童が受入可能人数を超過

令和8年度入所児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
83	63	45	16	10	4	221

・放課後児童クラブの設備基準上、児童1人につきおおむね1.65㎡以上の面積確保が必要となるが、23人の児童については、基準の経過措置により、改修工事が完了するまでの間、既存のクラブ室での受け入れを行う

【課題】

・放課後児童クラブの実施場所の確保や施設整備に係る財政負担

事業概要

○全体事業費:31,225千円

○事業内容 : 財政負担の軽減を図るため学校施設を有効活用し、旧パソコン室を改修の上、放課後児童クラブとして利用
※本改修により、新たに45人の受入れが可能

○負担割合 : 国5/6、県1/12、市1/12 子ども・子育て支援交付金等活用予定

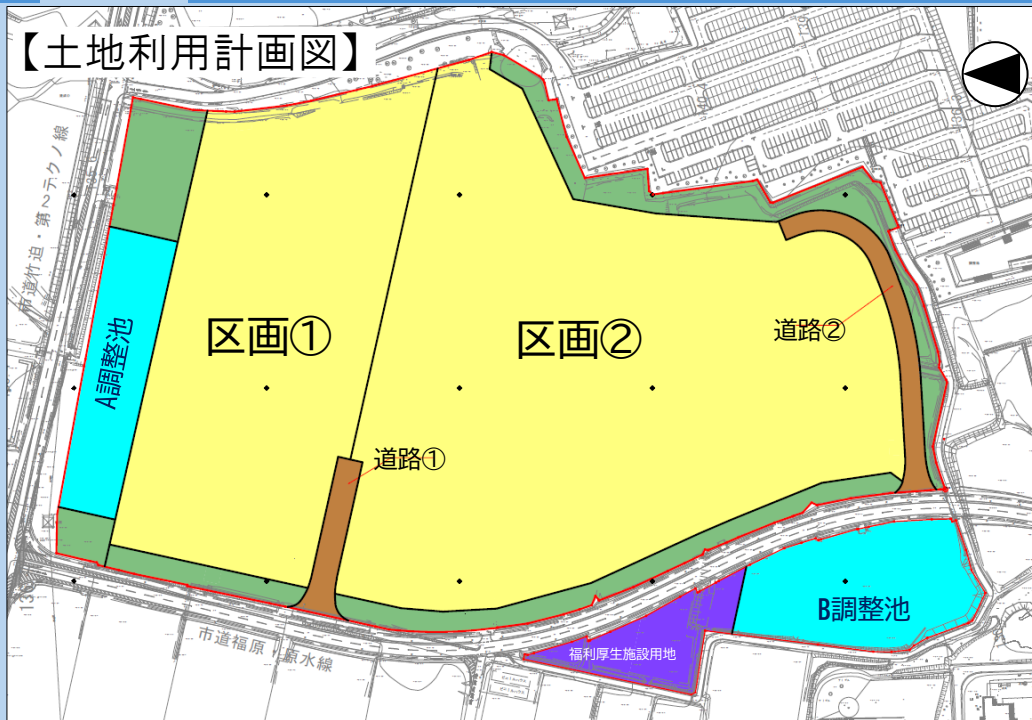
○事業期間 : 令和8年度

スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入札	→									
契約締結		→								
工事期間			→							
クラブ運営							→ 17			

東部工業団地の立地企業内定について

【土地利用計画図】



【航空写真】



令和8年1月に分譲公募を開始した市営「東部工業団地」は、次の企業を分譲企業として内定しました。

内定企業概要

(1) 買受企業名

東京エレクトロン株式会社

代表取締役社長 河合 利樹

(2) 操業企業名

東京エレクトロン九州株式会社

代表取締役社長 林 伸一

(3) 業種

半導体製造装置事業

(4) 所在地

合志市福原字馬飼代及び横道の一部

(5) 分譲面積 (予定)

109,976m² (約11ha) 区画①及び区画②

お問い合わせ先

産業振興部 商工振興課 企業立地支援班

☎ 096-248-1115 (直通)

✉ syokou@city.koshi.lg.jp



ふたりの健康と未来応援助成


～ふたりの新しい一歩を、応援します～



期待される効果

- ◎ 経済的負担による受診のハードル低下
- ◎ 健康管理の意識向上
- ◎ 適切な治療への早期移行

概要

 夫婦で受けた検査の費用について助成
(生殖機能検査を必ず含むもの)

▶目的

将来的に妊娠を希望する夫婦が早期に自身の体の状態を正しく把握し、生活習慣の改善や妊活に取り組み、ライフプランを描くことを支援する

▶対象者

- ・将来的に妊娠を望む夫婦等で婚姻日から2年以内の夫婦
- ・検査日から申請日までの期間において合志市に住民票があること(夫婦もしくは一方)
- ・夫婦とも受診し検査を受けていること

▶対象検査項目

産婦人科又は泌尿器科の保険医療機関にて、夫婦ともに行った検査(※保険適用の有無を問わない)

▶助成額 夫婦合算費用の2分の1を助成(上限2万円)

お問い合わせ先

こども部 こども家庭課

☎ 096-248-1173(直通)

✉ katei@city.koshi.lg.jp



合志市の『雨庭(あめにわ)』が完成しました

～新しい地下水涵養(かんよう)の取組み～



概要

- ・雨庭とは：宅地等の土地開発により失われる地下水涵養量の減少を緩和し、降った雨を一時的に貯留し、ゆっくり地下に浸透させる構造を持った施設です。
- ・洪水の抑制につなげる効果もあります。
- ・熊本県立大学、肥後銀行を始めとする学術機関及び企業が連携し推進している「熊本ウォーターポジティブ・アクション」に係る取組みの一環です。
- ・合志市のヴィーブル玄関に整備された雨庭は熊本樹芸農業協同組合が熊本県の助成を受けて実施する「緑化木需給安定対策事業」を活用し整備されたもので年間150m³の雨水を地下に浸透させる能力があります。



お問い合わせ先

市民生活部 環境衛生課

☎ 096-248-1202(直通)

✉ kankyo@city.koshi.lg.jp

第18回 合志市人権教育研究大会



(講師紹介)

大学時代、京都での被差別体験が、教職へと思いを強くし、ふるさと徳島で中学校教師になり、1990年度より板野中学校において「生徒が生徒を変える、語り合いの人権・部落問題学習」(全体学習)を創造。1993年度文部省道徳教育読み物資料作成協力者会議の委員となり、部落問題をテーマとした資料「峠」 「スタチの苗木」を執筆。その後、広島大学、愛媛大学の教育学部で11年間「同和教育」「人権教育」の講義を担当。2019年には、「みんなで語り合う人権学習はすべてを変える」をテーマとして、「T-over人権教育研究所・人権こども塾」を創設

合志市では、部落差別をはじめとするさまざまな人権問題について、市民一人ひとりがより深く理解し、人権教育の輪を広げ、差別のない明るい社会の実現を目指すため、合志市人権教育研究大会を開催します。

概要

日時:7月25日(土曜日)

(午前9時開場 9時30分開会～11時30分閉会 予定)

会場:合志市総合センター「ヴィーブル」文化会館(合志市福原2922番地)

講演会講師 T-over人権教育研究所・人権こども塾

共同代表 **森口 健司** さん

「ひとつごと」から「わがこと」へ～語り合い、夢を託す～

「入場無料」

手話通訳あり
筆記通訳あり
託児あり

※託児は事前申込が必要です

お問い合わせ先

主催: 合志市人権教育推進協議会

問い合わせ: 合志市教育委員会 人権啓発教育課 啓発教育班

TEL:096-248-2399 E:mail:jinken@city.koshi.lg.jp



いまをときめく漫才師が本格漫才をお届け！

中田カウス 漫才のDENDO全国ツアー in合志

文化芸術自主事業

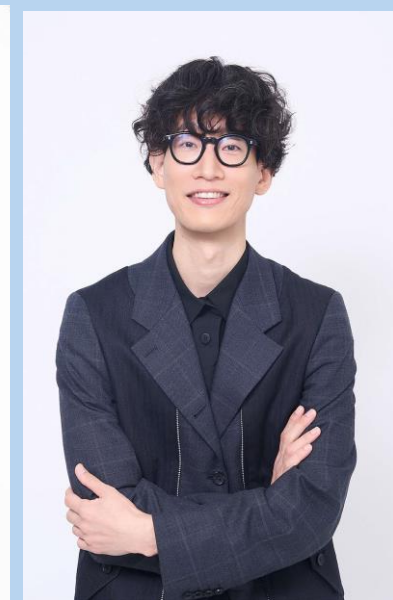
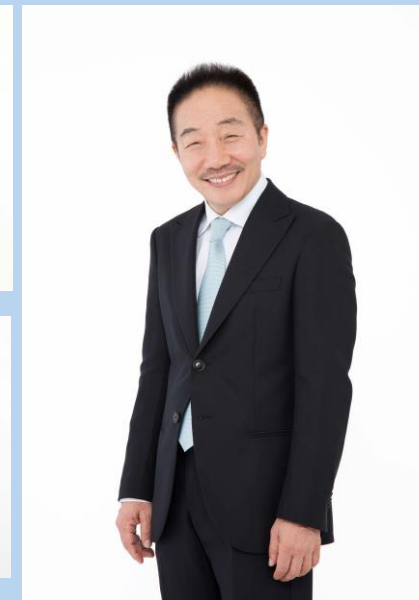
- “生の舞台”をお届けすることで、文化芸術への関心拡大
- 市民の感性や創造性を育む

概要

開催日 令和8年8月9日(日)
会場 総合センター「ヴィーブル」文化会館
開場 13時 開演 13時30分
入場料 前売 4,500円/当日 5,000円(全席指定)
チケット販売 令和8年6月19日(金)から
申込み方法 二次元コードから申込み

期待される効果

- 来場者見込み:600人(満席)
- 文化芸術自主事業への参加促進



お問い合わせ先

教育委員会 生涯学習課

☎ 096-248-5555(直通)

✉ gakusyu@city.koshi.lg.jp²²



合志市制施行20年検証報告書を作成しました

背景と目的

合併後20年経過を機に、新市建設計画に基づくまちづくりの達成状況を明らかにするとともに、行財政運営・分野別の取り組み・危機事象への対応の視点から、自立した行政経営体制の整備状況を検証したものの



検証結果を市政運営や協働のまちづくりに反映させることはもとより、合志市総合計画第3次基本構想第2期基本計画の策定に繋げていく

[問い合わせ先]

合志市 市長公室 企画課 企画広報班



096-248-1813 (直通)

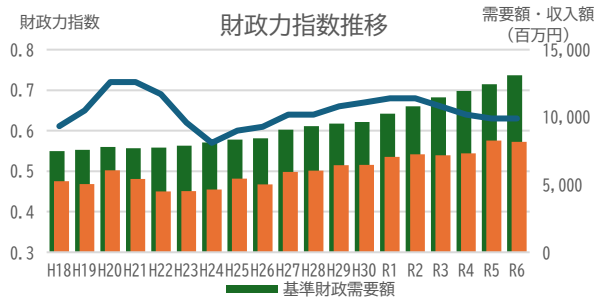


kikaku@city.koshi.lg.jp

内容と主な成果

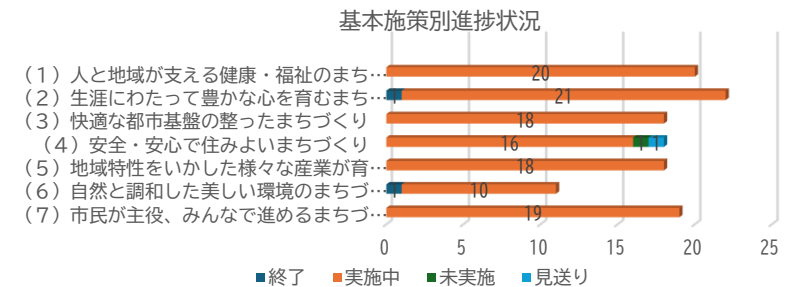
(1) 行財政運営に関する検証

- ・柔軟な組織改編と事務の権限委譲
- ・合併特例事業債の有効活用による大規模事業
- ・基金の確保、安定した財政運営



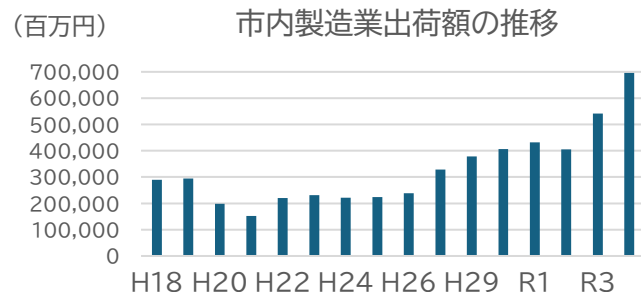
(2) 合併協定及び新市建設計画の検証

- ・新市建設計画の事業進捗率98%
- ・産業集積、土地区画整理、スマートIC開通など重点施策の着実な成果



(3) 分野ごとの検証

- ・窓口サービスのデジタル化
- ・製造業出荷額の成長（合併時比3.5倍）



(4) 危機管理事象への対応

【熊本地震】

避難所運営、家屋被害調査、インフラ整備や避難者支援など迅速な対応で市民の安全・安心を確保

【新型コロナウイルス】

ワクチン接種対策室の設置によるワクチン接種と給付金事務の迅速かつ公平な接種・給付体制を構築

合志市紹介動画（多言語版）の完成

～合志市をより多くの人に知ってもらうために～

制作の背景

- 1 国内で人口減少が進む中、合志市は人口増加が見込まれている
- 2 外国人の人口が増加している
- 3 台湾をはじめとする海外との交流が盛んになっている
- 4 海外の行政機関や経済団体等に対するPRのための有効なツールが必要
- 5 隣接自治体に海外大手半導体企業が進出したことに伴い、国内外から注目を集めている
- 6 多文化共生に向けた取り組みの重要性が増している

主な用途

- ・国内外からの視察来訪、表敬訪問等における合志市の紹介
- ・国内外での行政視察、表敬訪問、会議、レセプション等における市のPR
- ・市内企業による外国人従業員向け教材としての活用
- ・市内外におけるデジタルサイネージを活用した合志市のPR

目的

市の概要、特色、将来性等を分かりやすく伝えることができる動画を作成し、国内外に対して本市のプレゼンスの向上と多文化共生の推進を実現する。



合志市紹介動画
(市公式Youtubeチャンネル)

